

経済学研究科 アジア地域経済専攻 博士前期課程

【教育目標】

アジア経済を理解するためには、アジアを取り巻く国際情勢を知っておく必要があります。また、国内の社会経済や、解析手段となる経済理論も知っておく必要があります。経済学研究科アジア地域経済専攻では、こうした幅広い視点に立ったアジア地域経済研究をおこなうことによって、専門的視点をもってグローバル社会で活躍できる優れた分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成することを目標にしています。

【ディプロマ・ポリシー】

本専攻では、専門分野に関する高度な知識を身につけ、カリキュラムに則って所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査を受け、合格した者に修士（経済学）の学位を授与します。

1. アジア地域経済を取り巻く問題について、多角的な視点で論理的に考察をおこなうことができる。
2. グローバル社会で活躍できる優れた分析力と判断力を修得している。
3. 国内外の社会経済や、解析手段となる経済理論についての高度な学識を身につけている。
4. 専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができる。

【カリキュラム・ポリシー】

本専攻では、経済の理論と現状についての高度な学識を修得することによって、グローバル社会で活躍できる優れた分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 世界経済、アジア地域、日本経済、企業活動および経済理論についての高度な学識を身につけることができ、多角的な視点から創造的な研究ができるよう体系的な科目を提供する。
2. 1年次に演習Ⅰ、2年次に演習Ⅱを設定し、各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができるよう、指導教員が指導をおこなう。
3. 修士論文の作成にあたっては、2年次に中間論文報告会にて発表を実施し、指導教員とともに様々な分野の教員が指導をおこなう。
4. 完成論文の発表をおこなう論文報告会を実施し、より完成度の高い論文を目指す。

【アドミッション・ポリシー】

グローバル化が進展する現代社会において、常に視野を広げ、多角的な観点をもって経済を分析し、問題解決に取り組もうとする意欲ある学生に広く門戸を開いています。大学院生が、高度な学識を修得し、幅広い視点に立ったアジア地域経済研究をおこなうことによって、グローバル社会で活躍できる高度な分析力と判断力を身につけることを目指します。

上記の点を踏まえて、本専攻では以下のような方々の入学を希望します。

(求める学生像)

1. 自然を愛し、旺盛な探究心を持って新しい課題に積極的に取り組む意欲がある方。
2. 経済理論に関する基礎的な知識を有しており、国際経済、アジア地域、日本経済、企業活動および経済理論についてより深く学びたい方。
3. 大学院で、高度な分析力と判断力を身につけて、グローバル社会で活躍したい方、および専門的職業でより一層活躍したい方。
4. 国内外の経済問題について、多角的な視点で論理的に考察することができる力を身につけたい方。

(選抜方法)

入試名称 求める学生像	推薦	一般	社会人	留学生
1		○		○
2	◎	○		○
3	○	○	◎	○
4	◎	◎	◎	◎

改正 2021年3月24日